【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和4年6月13日(2022.6.13)

【国際公開番号】WO2021/166337
【出願番号】特願2022-501628(P2022-501628)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｋ　1/04(2019.01)
Ｂ６０Ｋ11/04(2006.01)
Ｂ６０Ｋ　6/40(2007.10)
Ｈ０２Ｇ　3/30(2006.01)
Ｈ０２Ｇ　3/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｋ　1/04　　Ｚ
Ｂ６０Ｋ11/04　　Ｇ
Ｂ６０Ｋ　6/40　　ＺＨＶ
Ｈ０２Ｇ　3/30
Ｈ０２Ｇ　3/04　０６２

【手続補正書】
【提出日】令和3年5月31日(2021.5.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車体のフロアの下側において、左右のサイドメンバ間に形成されたタンク収容部に配設された燃料タンクと、
前記左右のサイドメンバ間を連結するクロスメンバを挟んで前記タンク収容部と前後方向に並設されたバッテリ収容部に配設された走行用バッテリと、
前記タンク収納部に対して車両前後方向の前記バッテリ収納部とは反対側に配設された走行用モータと、
前記走行用バッテリから前記走行用モータへ電力を供給する電力線と、
を備えるハイブリッド車両における電力線の配索構造であって、
前記タンク収容部の一部が、前記左右のサイドメンバ及び前記クロスメンバにより構成され、
前記電力線は、前記走行用バッテリの端子台から前記燃料タンクの左右何れか一方を迂回するように、前記クロスメンバの側壁から前記左右何れか一方のサイドメンバの側壁に沿って延設されるとともに、前記クロスメンバの側壁に沿った領域に、弛みをもたせた余長領域が形成されている
ことを特徴とするハイブリッド車両における電力線の配索構造。
【請求項２】
前記電力線は、前記余長領域において、前記クロスメンバの側壁に沿って上方へ突出する山なりに延設されて弛みをもたせている
ことを特徴とする請求項１に記載のハイブリッド車両における電力線の配索構造。
【請求項３】
前記走行用バッテリの端子台は、前記クロスメンバの下側に配設されている
ことを特徴とする請求項１または２に記載のハイブリッド車両における電力線の配索構造

。
【請求項４】
前記走行用バッテリの端子台には、前記電力線側の電力線側コネクタが接続される前記走行用バッテリ側のバッテリ側コネクタが前記燃料タンク側に形成され、
前記電力線側コネクタは、前記バッテリ側コネクタに接続された状態で前記クロスメンバから前記燃料タンク側に突出するとともに、前記燃料タンク側に突出した箇所から前記電力線が上方に延設される
ことを特徴とする請求項１乃至３の何れか１項に記載のハイブリッド車両における電力線の配索構造。
【請求項５】
前記走行用モータに冷却水を循環させて前記走行用モータを冷却する冷却配管をさらに備え、
前記冷却配管は、前記走行用モータから前記タンク収納部内に引き込まれて、前記燃料タンクの左右何れか他方を迂回して前記クロスメンバの側壁に沿うとともに、前記クロスメンバの側壁の箇所における前記電力線との交差箇所を経て延設され、
前記交差箇所において、前記冷却配管が前記クロスメンバ側に配設され、前記電力線が前記燃料タンク側に配設されている
ことを特徴とする請求項１乃至４の何れか１項に記載のハイブリッド車両における電力線の配索構造。
【請求項６】
前記交差箇所において、前記冷却配管に第１プロテクタ部材が嵌装され、前記電力線に第２プロテクタ部材が嵌装されている
ことを特徴とする請求項５に記載のハイブリッド車両における電力線の配索構造。
【請求項７】
前記第２プロテクタ部材は、前記交差箇所から前記左右何れか一方のサイドメンバに沿った領域まで延設されている
ことを特徴とする請求項６に記載のハイブリッド車両における電力線の配索構造。
【請求項８】
前記第２プロテクタ部材は、前記左右何れか一方のサイドメンバに沿った領域において、前記車体のフロアパネルに対してボルトにより固定され、
前記電力線は、前記余長領域において、前記クロスメンバの側壁に対して所定荷重により外れるクリップで固定されている
ことを特徴とする請求項７に記載のハイブリッド車両における電力線の配索構造。
【請求項９】
前記電力線は、前記余長領域において、可撓性を有した第３プロテクタ部材が嵌装されている
ことを特徴とする請求項１乃至８の何れか１項に記載のハイブリッド車両における電力線の配索構造。